

安全ニュース

傷害事故報告

安全+第一

7月の事故発生も0件でした。引き続き無事故が継続するようよろしくお願いします。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
令和7年度	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	0	0	6
令和8年度	1	1	0	0									2

秋の全国交通安全運動について

2026年の秋の全国交通安全運動は、9月21日(月)から9月30日(水)までの10日間実施されます。期間中の9月30日(水)は「交通事故死ゼロを目指す日」です。重点項目は以下の3点です。

- (1) 〈歩行者〉歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進
- (2) 〈自動車〉夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶
- (3) 〈自転車〉自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールを理解・遵守の徹底

重点項目の内〈歩行者〉の注意点についてご案内します。

① 反射材の着用：夕暮れや夜間は、明るい服や反射材用品をつける。
夕暮れ時は、一日の中でも歩行者が死亡する交通事故が多発する危険な時間帯です。

夕暮れ時の交通事故に巻き込まれないためには、歩行者自身がドライバーから見えやすくする工夫が大切です。夕暮れ時や夜間は、歩行者から自動車は見えても、反対にドライバーからは歩行者が見えにくいことがあります。

また、黒など暗い色の服装は、ドライバーから見えにくいので、事故を防ぐためには、ドライバーから見えやすいように、歩行者は明るい色の服を着るなど工夫をすることが重要です。



② 安全な道路横断:道路を渡るときは安全をしっかりと確かめる。

早朝、夜間に横断歩道のない場所で道路を横断中の歩行者が被害に遭う交通事故が後を絶ちません。暗い道では、歩行者の姿が運転手から見えているとは限りません。横断歩道のない場所では、正しい方法で道路を横断しなければ、歩行者が交通違反となる場合があるので、注意してください。

・横断歩道の利用

歩行者は、横断歩道がある場所の付近では、その横断歩道によって横断しなければならない。

・斜め横断の禁止

歩行者は、斜めに道路を横断してはならない。

※除外 道路標識・標示によって斜め横断が可能なスクランブル交差点での横断を除く。

・前直後横断の禁止

歩行者は、車両等の直前または直後で横断してはならない。

※除外 ①横断歩道を横断するとき

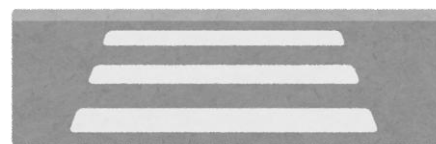
②信号機の信号や警察官等の手信号に従って横断するとき

・横断禁止場所

歩行者は、道路標識によって横断が禁止されている道路の部分では横断してはならない。

・信号機の信号等に従う義務

道路を通行する歩行者または車両等は、信号機の表示する信号または警察官等の手信号等に従わなければならない。



※交通事故の当事者にならないために、歩行者の方も交通ルールを守りましょう。

健康管理講習会募集中です

健康管理講習会【フレイル予防体力測定教室】開催

- 日 時:9月16日(水)10:00~12:00
- 場 所:シルバー人材センター会議室
- 内 容:フレイルの予防
運動プログラム 準備運動、コーディネーション運動、ストレッチ運動、筋力運動
栄養プログラム 自分に足りない食品を見つけよう
体力測定 6種類
- 募 集:15名
- 持ち物:筆記用具・動きやすい服装と運動靴・タオル、飲み物
- 講 師:センターフレイル予防サポーター
- 申込み:9月11日(金)までにお電話で申し込み下さい
048-481-4305 主催 安全委員会